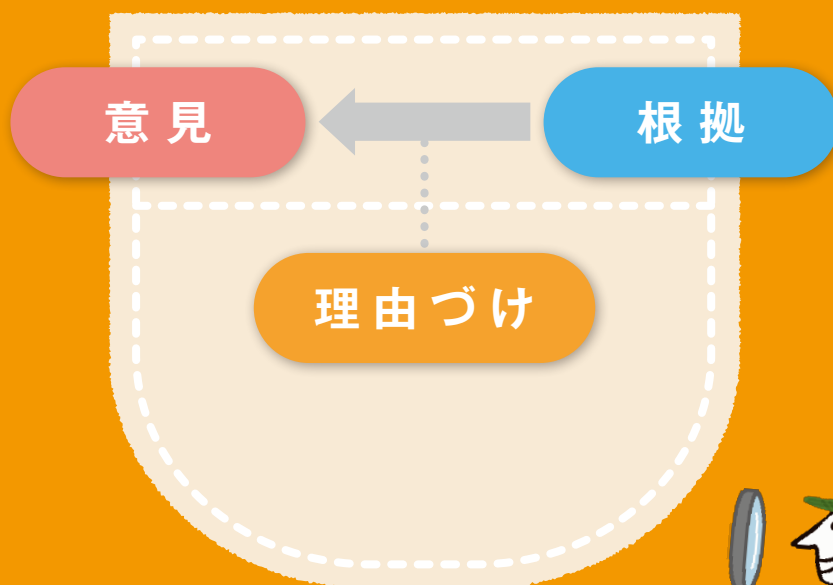


光村ポケット

中学校 国語

意見・根拠・
「理由づけ」で、
論理的に考える力を
育む



光村図書



LINE公式アカウント友だち募集中!

授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。



教授用資料

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。



確かな根拠に基づく意見
であっても、無理のない「理
由づけ」が示されるかどうか
で、説得力が変わってくる。

意見

根拠

理由づけ

で、

論理的に考える力を育む

情報過多ともいわれる現代社会。さまざまな媒体から必要な情報を取り出したり、情報と情報との関係を把握したりすることは、自分の判断を確かなものにするうえで極めて重要なスキルです。

「思考のレッスン」は、原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について学ぶ小教材です。今回は、論理的に考え、表現するのに有効な意見・根拠・「理由づけ」についてご紹介します。

意見・根拠・「理由づけ」の関係

意見

根拠

意見の正しさや
有効性を証明するもの
●事実、確かな事柄
●客観性・信頼性の
高い情報

理由づけ

意見と根拠の
結び付き

意見を支える根拠としてふさわしいのは、正確で客観的な事実です。さらに光村では、**意見と根拠を結び付ける「理由づけ」**にも目を向けさせています。いくら信頼性の高い根拠が示されていても、意見と根拠の間に整合性がなければ説得力は高まりません。「理由づけ」に目を向けることで、情報と情報との関係の質を問い、論理的に考え、判断する力を養うことができます。

ポイント

論理的に考える習慣を

教科書の「チェックポイント」は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の言語活動で積極的に活用することが大切です。意見・根拠・「理由づけ」の関係を常に問う姿勢が、論理的に考える力を育みます。

ポイント

同じ事実を根拠にしても……

根拠として「正確で客観的な事実」が示されているだけでなく、「理由づけ」を意識して、「なぜ、この根拠からこの意見が導けるのか」を考えながら話を聞いたり、文章を読んだりすることで、意見の妥当性を判断することができます。

生かそう？

説明的な文章を「読む」場面で

- ✓ 筆者の意見とその根拠を捉える
- ✓ 根拠の客観性や「理由づけ」の適切さを吟味し、意見の信頼性を判断する

例えば…
1年『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ
2年『モアイは語る』
3年『複数の意見を読んで、考えよう』

自分の考えを「書く」場面で

- ✓ 正確で客観的な事実を根拠として複数示す
- ✓ 無理のない「理由づけ」を考え、論理の展開を工夫する

例えば…
1年「根拠を明確にして書こう」
2年「適切な根拠を選んで書こう」
3年「論理の展開を意識して書こう」

日常的な場面でも

- ✓ 根拠の妥当性を評価しながら、聞いたり読んだりする
- ✓ 意見と根拠の結び付きに注意して自分の考えを伝える

例えば…
・メディアが伝える情報に接するとき
・話し合いや協働の場面で、他者の意見を踏まえて自分の意見を述べるとき

131 思考のレッスン1 ● 根拠の吟味

チェックポイント

- ✓ 意見を聞いたり、伝えたりするときは、次の点を確認しよう。
- ✓ 客観的で信頼性の高い事実を根拠としているか。
- ✓ 適切な「理由づけ」を明確に示しているか。
- ✓ 適切な根拠と「理由づけ」を、複数提示しているか。

2年生では、より根拠の適切さや意見の信頼性を吟味する観点に！

139 思考のレッスン1 ● 意見と根拠

チェックポイント

- ✓ 意見を聞いたり、伝えたりするときは、次の点を確認しよう。
- ✓ 根拠が示されているか。
- ✓ 正確で客観的な事実を根拠にしているか。
- ✓ 理由づけに無理はないか。

意見
探偵は、犬より猫を飼うべきだ。

理由づけ
仕事で家を空けることが多い探偵は、毎日散歩をさせるのが難しいから。

根拠
猫は、散歩をさせなくてもよい。

意見と根拠の結び付き
根拠を示すときは、その根拠が意見とどのように結び付くのかを説明する必要がある。これを理由づけという。無理のない理由づけは、意見の説得力を高める。



「理由づけ」によっては、同じ「根拠」から、異なる「意見」が導かれることもある。

意見
探偵は、猫より犬を飼うべきだ。

理由づけ
体力のいる探偵は、毎日犬と散歩して体をきたえたほうがよいから。

意見
探偵は、犬より猫を飼うべきだ。

理由づけ
仕事で家を空けることが多い探偵は、毎日散歩をさせるのが難しいから。

根拠 | 正確で客観的な事実
猫は、散歩をさせなくてもよい。



全国学力・学習状況調査から見る 「意見と根拠」の現状と課題



令和6年度全国学力・学習状況調査では、少人数の話し合いの場面での発言から意見と根拠の関係を捉える問題が出題されました。これは、令和5年度の同調査で課題が見られた「意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること」に係る同様の趣旨での出題でしたが、結果は下表のとおり、正答率44.4%にとどまりました。

※表中の◎＝正答。

問題番号	問題の概要	選択肢				
		1	2	3	4	無解答
1三	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する			◎		
		17.3	17.8	44.4	20.0	0.5

文部科学省「令和6年度全国学力・学習状況調査報告書 中学校 国語」より引用

令和7年度調査では、「情報の扱い方に関する事項」を直接的に扱う問題こそ出題されませんが、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」の力を測る趣旨の問題が出題され、正答率は31.2%でした。引き続き課題があると言えます。

「根拠」と「論拠」の関係

高等学校では、「現代の国語」の〔知識及び技能〕(2)「ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。」が関連する指導事項です。平成30年告示の高等学校学習指導要領解説によると、「論拠」とは「主張がなぜ成り立つかを説明するための根拠と理由付けのこと」であり、「根拠のみならず、主張が妥当な理由付けに支えられていることを示すもの」と明確に定義されています。



文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編」ならびに「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」を基に作成



光村図書

教授用資料 発行日 2025年9月
発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
イラスト 秋葉あきこ
デザイン 田中真琴

光村図書ウェブサイト
光村図書 | Q

